



諫早市美術・歴史館

BIREKIだより

Museum News /vol.29

Contents

- 出雲市・津山市
三市交流展 ……2
- 常設展示室 ……4
- 今後の講座 ……5
- びれきレポート ……6
- みんなの声 ……7

上) 拾万石御加増後初御入国御供立図(部分)

津山郷土博物館蔵

右) 大黒主神像(部分) 出雲文化伝承館蔵



Sept. 2022



西九州新幹線開業記念 諫早市友好交流都市 出雲市・津山市 三市交流展



開会まであと少し!! 会期 2022.11.3(木・祝)～12.18(日)

西九州新幹線の開業にあわせて、諫早市と友好交流都市である島根県出雲市、岡山県津山市の歴史や文化を紹介する特別展を開催します。

諫早市、島根県出雲市、岡山県津山市の三市による友好交流は、昭和56(1981)年7月28日に友好都市提携協約を結んだことからはじまりました。当時、三市の人口規模が類似しており、中核工業団地を有しているなど共通点が多かったことがきっかけでした。今回の特別展では、この三市友好交流の歩みとともに、三市が誇る文化財、美術工芸品等を紹介します。

出雲市、津山市、諫早市の3つのエリアに分け、文化財等を展示します。特に出雲市、津山市から貴重な文化財、美術工芸品をお借りして紹介します。この機会にご覧ください。

また、会期中は専門家をお招きしてのギャラリートークや講演会、子ども向けのワークショップも開催します。ぜひ、ご来館ください。

会期中のイベント

- 11/3(木・祝) オープニングセレモニー
出雲市、津山市学芸員によるギャラリートーク
- 11/5(土) 記念講演「出雲王登場」
- 11/13(日) キッズワークショップ
「古代のものづくりー勾玉づくり」
- 11/20(日) 記念講演「津山藩主森家と松平家」
- 11/26(土) キッズワークショップ
「江戸のものづくりーからくり工作」
- 12/4(日) 記念講演「長崎警備と諫早家」
- 12/10(日) キッズワークショップ
「現代～未来のものづくりー電気工作・科学実験」

※上記日程以外の土、日に当館専門員によるギャラリートークを実施します。

※定員や申し込み方法などの詳細はこちら→



上)結17号墳円筒埴輪 出雲弥生の森博物館蔵
左)萌葱系威二枚胴具足 津山郷土博物館蔵

出雲市



金環 出雲弥生の森博物館蔵

国指定史跡である国富中村古墳から出土した金環（耳飾り）。この古墳は石室が盗掘をうけておらず、数多くの副葬品が残されていました。



荒神谷遺跡の青銅器

（復元と複製）
荒神谷博物館蔵



大黒主神像

出雲文化伝承館蔵

津山市



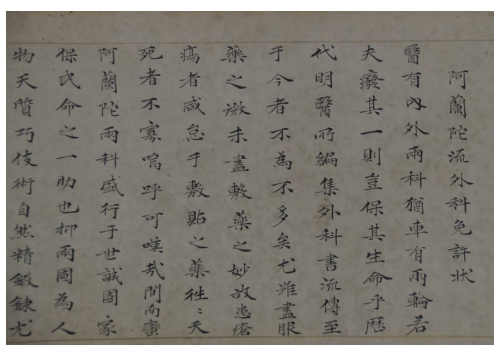
鉄盾 津山郷土博物館寄託



江戸一目図屏風

津山郷土博物館蔵

岡山県指定重要文化財で、津山藩松平家のお抱え絵師であった鋏形蕙齋が、文化6（1809）年に描いた、江戸鳥瞰図の傑作。航空写真のような構図で、江戸の町が細部まで描かれています。
※資料保存のため、11月28日まで展示し、レプリカへと展示替えます。



阿蘭陀流外科免許状 津山洋学資料館蔵

歴史講座・史跡見学

美術・歴史館では、郷土「諫早」を深掘した歴史や民俗、郷土ゆかりの美術など、座学の講座を当館2階研修室で実施しています。

また、市内の史跡や寺社など、現地を巡る史跡見学も実施しています。今回は、『歴史講座』と『史跡巡り』についてご紹介します。

9月23日（金・祝）、ついに、西九州新幹線開業です。

今年度は西九州新幹線開業を記念して、『**諫早市は今も昔も交通の要衝です**』をテーマに計画しています。どんなふうに通の要衝か、現代の地図に、今と昔の交通を重ねるとこんなかんじです。



ということで、今年度の『歴史講座』と『史跡巡り』のテーマは『**街道**』です!!
『歴史講座』から抜粋して、市内を通る4街道をご紹介します。

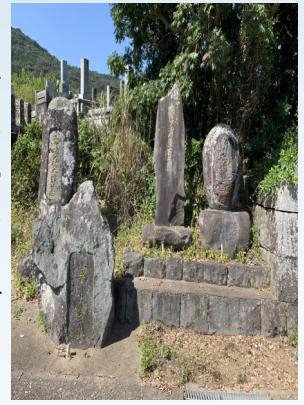
【長崎街道】 常磐橋(北九州市小倉北区)～一之瀬口(長崎市)間の約228km。

長崎街道は、東海道・中国路を經由して大坂・京・江戸と長崎を結ぶ重要な脇街道で、海外からの文化・情報・物などを全国に広める役割をしていました。また、九州の諸大名の参勤交代、長崎奉行の交代、出島のオランダ商館長(カピタン)の江戸参府、漂着民の長崎への送還、交易・献上品の運搬に用いられました。井樋ノ尾峠、破籠井～鈴田(大村市)間が「歴史の道百選」に選定、「大村街道」の名称で破籠井～市境が市指定史跡に指定されています。



【島原街道】 島原城(島原市)【北目】～矢上宿(長崎市)間の約56km。

島原街道は、島原藩内では、北目(島原城～愛野)・南目(島原城～北有馬)・西目(南有馬～愛野)と島原半島を一周するように整備され、脇道として島原半島を東西に横断し、西目に通ずる千々石道(島原城～千々和)があります。佐賀藩諫早領内では、長崎街道と連結する唐比～横山頭追分～矢上宿間、多良海道と連結する唐比～横山頭追分～諫早城下間があります。島原藩主が長崎警備を視察し、将軍に報告するために往来したことから、「長崎監視の道」とも呼ばれます。島原城【北目】～矢上宿間は、有明海・橘湾沿岸を通り、異なる海を眺めることができます。



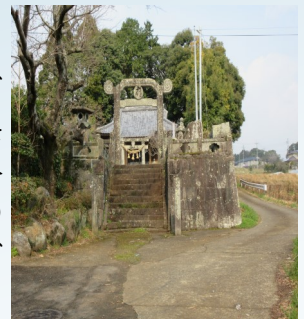
【多良海道】 永昌宿(永昌)～塩田宿(佐賀県嬉野市)間の約48km。

多良海道は、多良道・諫早街道などと呼ばれ、佐賀藩主や諫早領主が長崎警備などで、佐賀城～長崎間を往来する際に使用されました。海道のすべてが佐賀藩内を通るため、様々な融通が利くという利点がありましたが、有明海沿岸と多良岳山麓の尾根を超え、川を渡河するため大雨などの際には通行出来ないこともありました。特に湯江宿～浜宿間の山茶花峠・矢答峠(佐賀県太良町)は、難所でした。また、金泉寺や多良岳神社上宮への参詣道でもありました。大越～矢答峠間が「歴史の道百選」に選定されています。



【竹崎街道】 湯江追分(高来)～系岐追分(佐賀県太良町)間の約21km。

竹崎街道は、有明海沿岸を通る多良海道の脇道で、比較的アップダウンが少ないため、老人や女性、子供、荷物を持った人が往来していました。有明海航路の主要港であった竹崎津(港)は、急な荒天などで寄港した人が、陸路目的地を目指すために利用していました。また、竹崎島にある行基七観音の一つが祭祀されている竹崎観世音寺への参詣道でもありました。小川原浦が「歴史の道百選」に選定されています。



『史跡巡り』今後の予定は♪

☆美術・歴史館単独企画

- 10/ 1(土)「長崎街道」
コース：諫早駅～喜々津駅 約8km
 - 12/10(土)「多良海道」
コース：諫早駅～肥前長田駅 約8km
 - 2/ 4(土)「島原街道」
コース：諫早駅～西諫早駅 約8km
- ※参加費：100円
※住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、2週間前の金曜日までにお申し込みください。
- ・はがき：〒854-0014
諫早市東小路町2番33号
 - ・ファックス：24-6611
 - ・メール：bireki@city.isahaya.nagasaki.jp

☆JR九州ウォーキングタイアップ企画

- 10/22(土)「諫早四社参りとシュガーロード・長崎街道を歩く路」
コース：諫早駅～諫早駅 約7.5km
- ※参加費：無料
※事前申込：不要
※ゴールの諫早駅ではシュガーロードにちなんだミニマルシェが開催されます。
※街道沿いの史跡では、当館専門員による解説があります。



びれきしポート

5/28 高来の寺社めぐり

50代から90代の方が参加され、川内主任専門員の案内で高来町内の寺社をお訪ねしました。住職や神官の詳しいご説明も加わり、大変充実した見学となりました。

天初院→深海神社→小江神社→清水山鏡圓寺→
法川山和銅寺→法城山光宗寺→川上神社→湯江神社



6/11 民俗講座 諫早のクジラ

平戸市生月町博物館「島の館」学芸員中園成生氏をお招きして、捕鯨の歴史を中心にお話しいただきました。小長井の長戸鬼塚古墳（7世紀）や旭町の鯨塔（18世紀）など鯨と諫早のつながりを示すものにも触れられ、さらに、持続可能な今後の捕鯨の在り方について熱く語られました。



7/23 民俗講座 ムカシを語る

武庫川女子大学の高木史人教授にムカシ（昔語り・昔話し）の定義・研究史・伝承についてご講義いただきました。

- ①諫早のムカシは全国や世界とつながっている。
- ②地元で丁寧な記録が可能である。
- ③地元の人と世界の人々がつながって、共にムカシの将来を考えてほしい。

とまとめられました。



8/6～8/27 諫早歴史 face 展

諫早の情報誌『face isahaya』に寄稿された諫早の歴史を「夏目先生と諫早を歩こう」「諫早今昔物語」「街道シリーズ」「諫江八十八ヶ所巡り」と4コーナーで更に詳しく紹介しました。また、face isahaya 創刊号から最新号まで全264点の展示やフォトスポット、会場内では誌面の人気コーナー「カアパンを探せ!」など、face 企画さんにご協力いただき、楽しい企画展となりました。



みんなの声

諫早小学校校区内探索

諫早小学校3年生 7/11

当館では、館内案内のほか、「講師派遣」という形で歴史などの郷土学習に市内の案内をしています。

諫早小3年生の皆さんは、眼鏡橋など校区内全長4キロを探索し、諫早の歴史学習を深めました。暑い中よく頑張りました！！



◆がっこうのちかくの田んぼのなかに、むかし「沖じょう」があったことをはじめてしました。

◆通がくろのそばの石のぞうが昔から大事にされていることをもっと知りたいです。

◆とび石をわたったのしかった。

◆むかしのいさ早小のある所まで歩き、とてもつかれました。しょうとくひがまき物の形だとわかってびっくりしました。

◆水がいや眼鏡橋のべん強ができてよかった。

◆こんど、れきしびじゅつかんに行って、べんきょうします。まってね。

諫早大水害展

7/2~7/31

昭和32年の諫早大水害を写真と「殉難者名簿」で振り返りました。供養の気持ちで多くの御高覧を賜りました。



○殉難者名簿に以前から確かめたかった、当時小学5年生の友人の名前がありました。今回、公開していただき感謝しています。

○私が生まれる前にこの水害で亡くなった祖父と叔父の名を名簿で目にし、思わず手を合わせました。この水害を現実のものとして感じる事が出来ました。ありがとうございました。

○このような写真展を見ることで、亡くなった方も少しは浮かばれるような気がします。

四校合同美術部展

8/3~8/8

市内4校（諫早中・北諫早中・西諫早中・明峰中）美術部の作品展が開催されました。学校の中では、行事ごとに大作を制作・披露している美術部。今回の展示では、鉛筆画・水彩画・油絵・粘土工芸など多彩な作品が並びました。まさに青春ど真ん中!! 若さが溢れていました♪

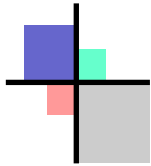
◆先輩方や他校の方々の作品を見て、良い刺激になった。来年はもっと上手な作品を展示できるようにがんばる。

◆好きなアニメものばかりでなく、色々な画法を勉強して、画力をつけたいと思いました。

◆広々とした空間で展示ができ、大変気持ちよかったです。会場にマッチする良い作品を描きます！

あなたも美歴を利用してみませんか？
詳しくは事務所にお尋ねください。





スケジュール (2022年9月～2023年3月)

展示

10/6(土)～16(日)

第67回 長崎県美術展覧会
(諫早会場)

11/3(木・祝)～12/18(日)

諫早市友好交流都市 出雲市・津山市
三市交流展

2/18(土)～3/21(火・祝)

エル グレコを描く 野田みち子 展

講座・イベント

館長講座

9/25(日) 諫早市・出雲市・津山市
三市交流展

2/12(日) 諫早菖蒲日記と諫早の歴史

歴史講座

11/27(日) 多良海道

1/29(日) 島原街道

史跡見学

10/ 1(土) 長崎街道 (諫早駅～喜々津駅)

10/22(土) 諫早四社参りとシュガーロード・
長崎街道を歩く路
(諫早駅～諫早駅)

12/10(土) 多良海道 (諫早駅～肥前長田駅)

2/ 4(土) 島原街道 (諫早駅～西諫早駅)

※展示の内容、申し込み方法等は、市報やホームページ、Instagram等で随時ご案内します。

ご利用案内

□開館時間: 10:00～18:00(展示室への最終入場は17:30)

□休館日: 毎週火曜日(祝日の場合は翌日)、12月29日～1月3日、
特別整理期間

□観覧料(常設展示室)

区分	観覧料(1人1回につき)	
	個人	団体(15人以上)
高校生・大学生・一般	200円	160円
小学生・中学生	100円	80円

●市内在住または市内在学の小・中学生は無料です。

●教育を目的として小・中・高・特別支援学校生などが利用する場合は、引率の教員を含め、無料です。

●障害者手帳等の掲示者及び付添人1名は無料です。

【その他】 ●ベビーカーや車椅子の貸出、授乳室もご利用いただけます。

●敷地駐車場: 30台

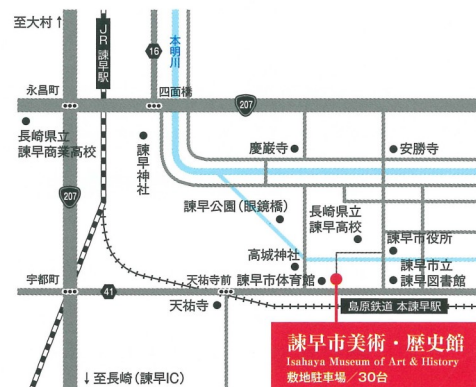
諫早市美術・歴史館

〒854-0014 長崎県諫早市東小路町2番33号

TEL: 0957-24-6611 FAX: 0957-24-6633

E-mail: bireki@city.isahaya.nagasaki.jp

- 【アクセス】 ● JR: JR諫早駅から徒歩約20分
● 島原鉄道: 本諫早駅から徒歩約5分
● 自動車: 長崎自動車道・諫早ICから約10分
● バス: 長崎県営バス・諫早公園前下車約5分



諫早市美術・歴史館の企画展やイベントなどの情報を
ホームページやInstagramなどでお届けしています。

HP <http://www.city.isahaya.nagasaki.jp/post07/12089.html>

Instagram @i-love-bireki

Homepage



Instagram

